



川小だより

学校教育目標

・美点を認める明るい子 ・ルールを守る正しい子 ・背筋の伸びた丈夫な子

平成28年 4月 8日 (金) No.1
狭山市立入間川小学校
〒350-1323 狭山市鶯ノ木5-9
TEL 04-2952-6221 FAX 04-2952-6222
e-mail g1001@sayama-stm.ed.jp
児童数 4/8 現在
男子 294名 女子 235名 計 529名

春風や 闘志いだきて 丘に立つ

校長 前原 辰信

1週間前に満開を迎えた桜の花が、入学式まで粘り強く持ちこたえてくれました。残った桜の花びらが、こぼれるような笑顔で、子どもたちの入学・進級を祝ってくれています。

本日、入間川小学校は、新しく94名の新1年生を迎え、全校529名の児童でスタートいたしました。さて、私は、このたびの人事異動により、狭山市教育委員会から校長として着任いたしました前原 辰信（まえはら たつのぶ）と申します。

「**チーム入間川**」を合言葉に、教職員の総力を結集して、子どもたちが「学校が楽しい！」と日々実感できるような教育活動を展開してまいります。

入間川小学校の伝統である「学校・家庭・地域の連携」を深め、すばらしい学校を創っていきたく思います。保護者の皆様・地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。本年度、私の学校経営の基本理念や目指す学校像を以下に紹介します。詳細については5月の学校説明会でお伝えします。

【学校経営の基本理念】

①「本気の教育」

学校は、一人ひとりの児童を伸ばすところである。学校として「本気の教育」を積み重ねることが、児童一人ひとりを伸ばす原動力になると信ずる。学習、運動、遊び、いづれにも児童の本気を引き出し、充実感を味わわせたい。

②「プラスαの教育」

目の前の児童は、心身の成長と共に常に変化を続けている。児童の実態をよく観察し、見極めながら、児童の変化や成長に合わせ、意識的に、これまでの教育活動や実践に「**プラスα**」(工夫・改善)を加えながら、教師自身も成長を重ねていく。現状維持は後退であり、教育者として「学び続け、変化していく」ことを求める。

※キーワード「やさしさと強さ」

- やさしさ・・・人や環境に対するやさしさ、やさしいことばづかい
- 強さ・・・粘り強さ、我慢強さ、たくましく生きる強さ

【目指す学校像】

保護者、地域から信頼され、児童の成長が見える学校

表題の俳句の作者：高浜 虚子

